**第10回・日韓政策フォーラムのご案内**

**１．開催の趣旨**

　このたび、以下の要領で第10回日韓政策フォーラムを開催します。日韓政策フォーラムは韓国統一部傘下の統一研究院（KINU）の提案で、日韓両国の政策協力を議論する場として、2008年にスタートしました。

　本フォーラムは、韓国政府のシンクタンクとして、統一政策全般の立案・企画に携わる統一研究院の専門家をお招きし、日本の朝鮮半島専門家との間で深度ある議論を行い、日韓の相互理解を深めることを趣旨としています。研究者だけでなくジャーナリストや政府関係者など幅広い参加者を得て、着実にネットワークが広がっています。

　今回は、米国でトランプ政権、韓国で文在寅政権が誕生し、新たな局面を迎えている朝鮮半島情勢を総括し、今後の展望について議論したいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

**２．テーマ：　「北東アジア情勢と日韓の対北朝鮮政策」**

**３．日時・会場**

日時：　2017年 7月21日（金）午後1時30分～5時40分

場所：　早稲田大学19号館711号会議室

　　　　　　（http://web.waseda.jp/gsaps/access/）

**４．プログラム**（日韓同時通訳付き）

13：30－13：45　開会の挨拶：　李鍾元（早稲田大学教授）

　　　　　　　　　　　　　　　 洪珉（統一研究院北韓研究室長）

13：45－15：15　第1セッション：　「北東アジア情勢と北朝鮮の核・ミサイル戦略」

司会：　裵廷鎬（統一研究院先任研究委員）

　報告：　鄭盛允（統一研究院研究委員）

「金正恩政権の安定性と核・ミサイル高度化戦略」

　　　　　井上智太郎（共同通信外信部次長）

「金正恩政権の現状と戦略」（仮題）

　討論：　李景澈（統一研究院国際協力団長）

宮本悟（聖学院大学教授）

伊集院敦（日本経済研究センター首席研究員）

15：15－15：30　休憩

15：30－17：00　第2セッション：　「日韓の対北朝鮮政策―方向と課題」

司会：　安尾芳典（共同通信客員論説委員、元ソウル支局長）

　報告：　洪珉（統一研究院北韓研究室長）

　　　　　　「韓国新政府の対北・統一政策の戦略的目標」

道下徳成（政策研究大学院大学教授）

　　　　　　「日本の対北朝鮮政策」（仮題）

討論：　裵廷鎬（統一研究院先任研究委員）

　　　　李奇泰（統一研究院研究委員）

　　　　山本勇二（東京新聞論説委員）

　　　　磐村和哉（共同通信編集委員）

17：00－17：30　全体討論：　「北朝鮮問題と日韓の政策協調」

　司会：　永野慎一郎（大東文化大学名誉教授）

17：30－17：40　閉会

**５．主催：　韓国統一研究院（KINU）、早稲田大学韓国学研究所**

**共催：　NPO法人東アジア政経アカデミー**

**早稲田大学アジア太平洋研究センター（WIAPS）**

**６．お問い合わせ先：**早稲田大学韓国学研究所　wiks@list.waseda.jp